

| | | | | |
|---|---|--|-----------------|--------|
| 縁 | 世田谷区立砧中学校 校長室だより 令和4年 7月11日 第 21 号 校長 大坂 崇 | 教育目標 「豊かな人間性の育成」 ◎ 集団生活における責任感と自主性を養う ◎ 健康な心身の育成と勤労の喜びを培う ◎ 基礎学力の充実を図り深く考える姿勢を育てる | | |
| | | 社会性の学び | 知的な学び | 心と体の学び |
| | | 自他の尊重 地域貢献 | 主体的な学び 学習の定着 | 心身の健康 |

本当の課題はどこにあるか

生徒の課題 = 教員の現状把握

- 学習意欲がない
- 規範意識が希薄である
- 人間関係がうまく作れない

など

教員の課題 = 生徒の課題の克服

- 学習意欲を高める
- 規範意識を向上する
- 人間関係の円滑化を図る

など

手だて = 教員の課題への対応 = 生徒の課題克服の方策



「生徒への個別対応」と「集団への対応」の2つ

例・・・(あくまで例、実際には先生方が自分で方策を考える)

○ 学習意欲を高めるために

- 個別対応 「家庭学習のノートを週末に確認する」
「放課後に個別に学習指導を行う」
- 集団対応 「ICT機器を活用した授業に取り組む」
「生活に身近な題材・教材を多く取り入れる」

○ 規範意識を向上するために

- 個別対応 「個人面談・個人指導を行う」
「帰る前に翌日の持ち物を一緒に確認する」(特別支援の視点)
- 集団対応 「外部の方を招いて講演や体験学習を行う」
「道徳の授業で規範意識や集団生活に関する項目を重点とする」

○ 人間関係の円滑化を図るために

- 個別対応 「生活ノートを確認し、気になる生徒に面談を行う」
「行動の仕方についてアドバイスする」
- 集団対応 「人間関係を確認するため、QUやエゴグラムを実施する」
「SSTのスキルを用いた人間関係づくりの取組を行う」

生徒の課題を並び立てるだけでなく、克服に向けて対応するのがプロ(教員のプライド)